

1. 科目名 (単位 数)	生涯学習支援論	3. 科目番号	SSMP2407 SNMP2407 SCMP2407 SBMP2407 SPMP2407						
2. 授業担当教員	植原孝行								
4. 授業形態	講義、演習 (調査研究、グループワーク含む)	5. 開講学期	秋期						
6. 履修条件・ 他科目との関係									
7. 講義概要	<p>生涯教育・生涯学習は、時代の変革期における一つの挑戦であり、人類の新たな教育・学習を展望したものといえる。本科目では、「生涯学習」の基本的な概念を習得し、とりわけ学習者の特性について把握した後、学習者の主体的な学びの支援方法について解説するとともに成人教育の意義とあり方について理解するよう授業をおこなう。</p> <p>生涯学習では、学習者が主体的、自律的に学習活動に関わり、学習目標、学習方法を自己決定していく自己主導的学習を促すことが求められる。つまり、参加型学習は一人ひとりの参加意識や学習動機が大切であり、特に施設や学習環境など条件を整備し、少しでも学習目的に近づけるよう支援者の適切な助言を必要とする。専門的教職員として継続的な学習プログラムの提供に関する基礎的な知識も習得できるように授業を展開していく。</p>								
8. 学習目標	<p>生涯学習に参加する学習者には、個人が学びへの関心を高めることもさることながら、ボランティア活動や地域の趣味、教養に関わる団体等の活動に参加し、自ら学ぶとともに他者の学習を支援するなど地域貢献できる人材として活躍することが期待されている。学習支援は、そうした人材養成に必要な基本的知識や行動力を実践に生かせるよう目標をたて、着実に学習成果があがるよう導いていく手法である。単にノウハウや手段を学ぶだけでなく、受講生一人ひとりが計画的な目標設定のもとキャリア形成に努めていただきたい。本授業を通じて受講生に求める目標は次の三点である。①生涯学習の原点が理解できるようになること。②参加・体験型の学習手法が実践的に理解できるようになること。③成人教育の理念・方法を身につけること。</p>								
9. アサインメント (宿題) 及びレポ ート課題	その都度、宿題を出すので、次回に発表する、あるいは期限までに提出すること。								
10. 教科書・参考 書・教材	<p>【教科書】 ○講義要旨 (講師作成の講義用印刷物および関連資料)</p> <p>【参考書】 ○国連ユネスコ「1965年ワーキングペーパー」 波多野完治翻訳 (ユネスコ国内委員会) 1967年。 ○『生涯教育入門』第1部、ポール・ラングラン著 波多野完治翻訳 (全日本社会教育連合会) 1984年再販。 ○『成人指導の方法』ウィリアム・A・ドレイブス著、三浦清一郎・末崎ふじみ共訳 (全日本社会教育連合会) 1990年。 ○『生涯学習辞典』増補版、日本生涯教育学会編 (東京書籍) 1994年。</p>								
11. 成績評価の規準 と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 本科目に対する基本的な知識が習得できたかどうか。 2. 他のメンバーと共同してグループワークに取り組むことができたか。 3. 課題を認識しつつ、自分の考えをもつことかできたかどうか。 <p>○評定の方法</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 授業への取り組み姿勢、グループワークへの参加度、協力度</td> <td>総合点の 30%</td> </tr> <tr> <td>2. 授業内での課題提出 (発表資料の作成、コメント用紙の提出)</td> <td>総合点の 20%</td> </tr> <tr> <td>3. 期末試験 (期末レポートを含む)</td> <td>総合点の 50%</td> </tr> </table>			1. 授業への取り組み姿勢、グループワークへの参加度、協力度	総合点の 30%	2. 授業内での課題提出 (発表資料の作成、コメント用紙の提出)	総合点の 20%	3. 期末試験 (期末レポートを含む)	総合点の 50%
1. 授業への取り組み姿勢、グループワークへの参加度、協力度	総合点の 30%								
2. 授業内での課題提出 (発表資料の作成、コメント用紙の提出)	総合点の 20%								
3. 期末試験 (期末レポートを含む)	総合点の 50%								
12. 受講生への メッセージ	<p>ドイツの学生たちの間では、「大学は学問の工場である」と言われているそうです。工場で物を造り出すように、大学は学問によって、質の高い、そして人類に役立つ知を創り出すところ、という意味のようです。そして、それは教師ではなく学生自身が取り組むこととされています。</p> <p>この科目では次の点に留意して、学びに取り組んでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席は必要条件であって、十分条件ではありません。 ・授業中の私語、飲食、携帯電話・スマートフォン等の操作は禁止です。 ・授業に集中し、必ず復習すること。 ・社会教育施設が主催する講座などに参加して、社会教育体験をすることをすすめます。 ・この科目は社会教育主事・社会教育士となるための授業であり、専門職となるための授業です。自分が社会教育主事になったときのことをイメージして学習することを望みます。 								
13. オフィスアワー	個別の相談は、授業後の休憩時間に応じる。								
14. 授業展開及び授業内容									
講義日程	授業内容	学習課題							
第1回	生涯学習・生涯教育と私たちの暮らし 講義	事前学習	シラバスを読んで授業の趣旨を理解する。						
		事後学習	この授業のねらいや課題を確認する。						
第2回	生涯教育が《時代》に突きつけたもの① 講義と輪読	事前学習	テキストの該当箇所を読む。						

			事後学習	復習しノートを整理する。
第3回	生涯教育が《時代》に突きつけたもの② 講義と輪読	事前学習	テキストの該当箇所を読む。	
		事後学習	復習しノートを整理する。	
第4回	時代の転換と学習観・教育観の転換と支援① 講義と輪読	事前学習	テキストの該当箇所を読む。	
		事後学習	復習しノートを整理する。	
第5回	時代の転換と学習観・教育観の転換と支援② 講義と輪読	事前学習	テキストの該当箇所を読む。	
		事後学習	復習しノートを整理する。	
第6回	時代の転換と学習観・教育観の転換と支援③ 講義と輪読	事前学習	テキストの該当箇所を読む。	
		事後学習	復習しノートを整理する。	
第7回	時代の転換と学習観・教育観の転換と支援④ 講義と輪読	事前学習	テキストの該当箇所を読む。	
		事後学習	復習しノートを整理する。	
第8回	集団運営の理論と実践(リーダーシップとフォロワーシップ) 講義と話し合い	事前学習	講義要旨の該当箇所を読む。	
		事後学習	復習しノートを整理する。	
第9回	参加・体験型学習の方法① 講義と実習	事前学習	講義要旨の該当箇所を読む。	
		事後学習	復習しノートを整理する。	
第10回	参加・体験型学習の方法② 講義と実習	事前学習	講義要旨の該当箇所を読む。	
		事後学習	復習しノートを整理する。	
第11回	参加・体験型学習の方法③ 講義と実習	事前学習	講義要旨の該当箇所を読む。	
		事後学習	復習しノートを整理する。	
第12回	グループワーク① 講義と実習	事前学習	講義要旨の該当箇所を読む。	
		事後学習	復習しノートを整理する。	
第13回	グループワーク② 講義と実習	事前学習	講義要旨の該当箇所を読む。	
		事後学習	復習しノートを整理する。	
第14回	グループワーク③ 講義と実習	事前学習	講義要旨の該当箇所を読む。	
		事後学習	復習しノートを整理する。	
第15回	前半のまとめ:グループディスカッションと各グループの発表	事前学習	14回の学びを整理して授業に臨むこと。	
		事後学習	これまでの学びをノートに整理し確認する。	
第16回	成人学習者の特徴① 講義と質疑応答	事前学習	シラバスを読んで授業の趣旨を再確認する。	
		事後学習	この授業のねらいや課題を確認する。	
第17回	成人学習者の特徴② 講義と質疑応答	事前学習	講義要旨の該当箇所を読む。	
		事後学習	復習しノートを整理する。	
第18回	成人教育の意義と成人学習者の支援 講義と質疑応答	事前学習	講義要旨の該当箇所を読む。	
		事後学習	復習しノートを整理する。	
第19回	会議の進め方(合意形成を図るための基本的考え方と方法) 講義と質疑応答	事前学習	講義要旨の該当箇所を読む。	
		事後学習	復習しノートを整理する。	
第20回	成人を指導することとは 学生の発表・話し合いと解説	事前学習	テキストの第1章を読んで要点をまとめる	
		事後学習	復習しノートを整理する。	
第21回	成人はどうやって学ぶのか 学生の発表・話し合いと解説	事前学習	テキストの第2章を読んで要点をまとめる	
		事後学習	復習しノートを整理する。	
第22回	成人の学習を援助する 学生の発表・話し合いと解説	事前学習	テキストの第3章を読んで要点をまとめる	
		事後学習	復習しノートを整理する。	
第23回	講座の準備 学生の発表・話し合いと解説	事前学習	テキストの第4章を読んで要点をまとめる	
		事後学習	復習しノートを整理する。	
第24回	結果の評価 学生の発表・話し合いと解説	事前学習	テキストの第5章を読んで要点をまとめる	
		事後学習	復習しノートを整理する。	
第25回	最初の授業 学生の発表・話し合いと解説	事前学習	テキストの第6章を読んで要点をまとめる	
		事後学習	復習しノートを整理する。	
第26回	参加者とのかかわり 学生の発表・話し合いと解説	事前学習	テキストの第7章を読んで要点をまとめる	
		事後学習	復習しノートを整理する。	
第27回	指導技術 学生の発表・話し合いと解説	事前学習	テキストの第8章を読んで要点をまとめる	
		事後学習	復習しノートを整理する。	
第28回	効果を高める——評価 学生の発表・話し合いと解説	事前学習	テキストの第9章を読んで要点をまとめる	
		事後学習	復習しノートを整理する。	
第29回	成人学習者支援について、学生によるシンポジウムのための話し合い	事前学習	講義要旨の該当箇所を読む。	
		事後学習	話し合いのまとめと整理。	
第30回	これまでの学びをまとめ、発表する(シンポジウム形式で)	事前学習	後半14回の学びを整理して授業に臨むこと。	
		事後学習	全30回の学びをノートに整理し確認する。	

期末試験